



# 信毎こども記者ニュース

■発行／ニコモ記者クラブ（信濃毎日新聞地域活動部）〒380-8546 長野市南寧町657 TEL 026-236-3110 FAX 026-236-3193

no.27



# これが“岡谷の蚕飼いの業!”

ふじさん(82)に聞いたところ、「80度のお湯が入ったかまの中で、毎日、糸を作っています」と答えてくれた。頭に汗をたらしながら、中山さんたちは朝から夕方まで働いていました。

8月6日付のこども新聞でも4人の  
こども記者がリポートしているよ

**暑かったりして大変**

宮坂製糸所の諏訪式座縫機について、中山ふじさん(82)に聞きました。諏訪式座縫機は、ヨーロッパから日本に伝わった方法を工夫したもので、明治8年から使われています。ゆびわのような「糸きり」をゆびにはめて、それで糸を切るそうです。

まゆ1つで取れる糸は1200～1500メートル。  
1本の糸を作るために約14個のまゆを使うそうです。  
大変なのは、まゆを煮るお湯は冬は温かく感じるけれど、夏は暑いことと、1本の糸を作る時、まゆの糸が切れたりしてつなぐことだそうです。



糸を取った後のサナギは人間が  
食べるか魚が食べるかどっちか。  
たまに食べるとおいしいよ！

みんな手際が良くかついいと思いました。前から少しだけカイコに興味がありたけれど、この日からもっと興味を持ちました。

前から興味がの日からました。



クラゲの遺伝子を持つカイコからとった糸。暗いところで光るんだ！

糸にふしを作る機械。好きな間かくでふしをいれられるよ



ランプシェードを作る機械を動かしてもらったよ



初めておかいこさまを見ました。ぼくが知っているカイコの色は白ですが、この日は、白と黒と、白黒のしましまを見せてもらいました。青虫のさなぎは緑くてごつごつしていますが、カイコのさなぎが入ったまゆは、かたくて白い丸でした。緑色のまゆもありました。クラゲのい伝子を持つ糸にもびっくりしました。

さいしょはおかいこさまが気持ち悪かったけど、だんだんいいじょうぶになってきました。さわれなかつたけれど、鳥ただけでもいっこうでした。

クフケのい伝子を持つ糸にもひっくりました。  
さいしょはおかいこさまが気持ち悪かったけど、だ  
んだんだいいじょうぶになってきました。さわれなかつた  
けれど、見ただけでもじゅう分でした。



 こども記者クラブのメンバーを募集しています。メンバーになると、特製記者バッジと名刺をプレゼント。「こども記者クラブ希望」と書いて、信毎地域活動部までどしどし応募してくださいね。